

学校関係者評価委員会(2024 年度まとめ)

2025 年 3 月 22 日(土)10:00～12:00

善隣幼稚園 すみれぐみ教室

出席委員名 宮城茂光 前泊加代子 後藤阿子 宮平一代 小橋川正吉
与儀幸英 比嘉弘子 城倉 翼(園長) (敬称略)
陪席 宮城むつみ(理事長) 山内淳(副園長) 金城めぐみ(主任)

1. 開会の祈り 2. 理事長挨拶 3. 資料の説明 4. 質疑・意見交換 5. 評価
6. 閉会の祈り

A(良い) B(一部検討を要する) C(改善を要する)

評価項目	結果	意見
幼稚園の教育課程の編成・実施に関して教職員間の共通理解をはかる。		
幼稚園の状況を踏まえて、中・長期的なビジョンと計画を作成する。		
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。		
保護者のニーズの把握に努め要望や苦情に適切な対応をはかる。		
保護者が期待する幼稚園像を理解し把握しつつ、建学の精神に則った、私学の独自性を守り、本園の運営・経営の充実をはかる。		
安全管理に関し教員の意識づけ、並びに危機管理マニュアルの共通理解をはかる。		
幼児に対応した個別の指導計画を作成し、医療・福祉の関係機関との連携をはかる		

★今後取り組むべき課題

【学校関係者評価委員からの評価】

評価項目① 幼稚園の教育課程の編成・実施に関して教職員間の共通理解をはかる

評価 A/A/B/A/A/A/A

- 膨大な教育課程であるがこれまで同様に共通理解を続ける努力は必要。
- 自由遊びの趣旨・目的を確認し「あそび」を通し子どもは今何を体験し学んでいるか見守ることは重要と思う。
- 一日の活動の流れ、自主活動、クラス活動、体育活動、英会話、音楽遊びなど、共通理解をはかり実施されている。
- 適切な評価をする為には、日々の活動の様子をしっかりと記録する。
- 昨年と比べて職員間のコミュニケーションを課題とする意見も少なく、話し合いの場もあり、意見交換されていると感じた。

評価項目② 幼稚園の状況を踏まえて、中・長期的なビジョンと計画を作成する

評価 B/B/A/A/A/A/A

- 日頃の教育、近くの行事準備で忙しいので、中・長期的ビジョンを確認する時間を作り、職員全員がそのベクトルに向かうと強力になると思う。
- 中・長期的ビジョンの計画は作成されていると思うが、勉強不足で把握していない。何らかの形で示してほしい。
- 毎月の保護者に見せていた計画表はなくなりましたが、クラスの壁に貼ってあったりと活用されていて、共通理解がされていると思った。

評価項目③ 教育の質の向上のために、園内研修を充実させる

評価 A/A/A/A/A/A/A

- 時代の変化とともに教育の質向上の方法も変化する。常に研修は必要。そしてその後の研修結果を生かす努力も必要だと思う。
- 職員の意識が高まり、学びの場、幼児理解など研修が充実している。

評価項目④ 保護者のニーズの把握に努め要望や苦情に適切な対応をはかる

評価 A/A/A/A/A/B/A

- アンケートによる保護者のニーズの把握を続け、保護者の想像以上のことを実施できると感動が生まれ信頼が深まると思う。
- 保護者との信頼関係を築くよう努力している。心配事を抱えている保護者に寄り添うなど保護者のニーズへの対応に努めている。
- こういった対処法を職員同士で話し合ったり、研修も必要なのかもしれない。
- アプリなどを通して、対応されていると思う（アンケートが答えやすくなった）。

評価項目⑤ 保護者が期待する幼稚園像を理解し把握しつつ、建学の精神に則った、私学の独自性を
守り、本園の運営・経営の充実をはかる

評価 A/A/A/A/A/B/A

- 建学の精神に沿った善隣幼稚園の特性・独自性が保育に生かされており、多くの保護者が賛同するような運営・経営がなされていると思う。
- 教育理念、教育方針、園目標、年主題、月主題、月のクラス別目標、クラス別指導案が構成されており、本園の運営・経営の充実がはかられている。
- 保護者との交流の場がなかなかとれないと思う。
- クラス懇談会の出席率を上げる方法はないか。
- 行事の見直しもされていて、積極的に園運営されていると感じた。

評価項目⑥ 安全管理に関し教員の意識づけ、並びに危機管理マニュアルの共通理解をはかる

評価 A/A/B/A/A/A/A

- 教師は日頃から安全管理に注意しているのがうかがえる。
- 危機管理マニュアルは文章で理解も必要だが、実際に起こった時の対応の共通理解はとても重要だと思う。
- 予想される危険
 - (1) 保育活動に伴う事故
 - (2) 保健衛生上の事故
 - (3) 火事・地震の災害
 - (4) 不審者侵入に伴う事故防止のための措置を万全に行っている
- 常にまわりと連携をして、お互いに確認をしながら保育に努める。
- 引き続き、安全管理の面について、共通理解をはかってよりお願いしたい。
- インスタグラムでも研修の様子を見ることができ、勉強されていると思った。

評価項目⑦ 幼児に対応した個別の指導計画を作成し、医療・福祉の関係機関との連携をはかる。

評価 B/B/A/A/A/A/A

- 日頃の活動で忙しい中、子どもの年齢にもよるが数人に絞り込み、行動記録することにより、クラス全体像を把握すれば関係機関とより連携ができると思う。
- 個別指導計画は担任が作成し他の職員と連携し実施されていると思う。
- 今年度医療・福祉機関との連携はどうだったか。
- 専門機関との連携も大事だと思う。

【今後取り組むべき課題】

- 教師として忙しい園生活の中で、一人一人に寄り添った教育が見えてきたので、さらに充実したゆとりのある教育を目指しましょう。
- 保護者に理解・信頼されるような意思疎通の伝達を続ける。
- 2024 年度を振り返って＜成果と課題＞＜意見・改善策＞を踏まえ、職員各自の課題、全体の課題は全体として共有し、次年度に生かすことができると思う。
- 登降園時の安全確認に最新の配慮をお願いしたい。
- 課題もあるかと思うが、全体的に全職員が一致して頑張っていると感じる。
- 家庭、地域社会との連携に関しては、そういった時間を業務内に設けたり（難しいのは重々承知しているが）、職員間で積極的に情報共有してもいいかもしれない。
- 「おみせやさんごっこ」であったような、行事の目的を保護者が知る機会があった方がいいと思った。「おたのしみ会」の見どころがあると、もっと子ども達の成長を感じられたのと思った。
- 園としての教育方針をもっとアピールされてもいいと思う。

【2024年度をふりかえり感想（学校関係者評価委員より）】

- 年度のまとめ
 - 運動会、クリスマス祝会、おたのしみ会の三大大事に全園児が出席できたことは大きな喜びと成果だと思う。
 - 三大大事のプログラムのアイデアが素晴らしい（園児にとっての宝物）
 - 副園長と3名の職員が与えられ万全の体制でスタート（園児や職員の笑顔がさらに増した）
- 各行事にて（三大大事）
 - 運動会（ばら組 挑戦しよう）
 - ◇ なわとびか鉄棒にチャレンジさせたのはいいと思う。鉄棒の時友達の補助をしていた。片付けは全員で取り組んでいた。
 - クリスマス祝会
 - ◇ 全園児による「さんび」はとても良かった。
 - ◇ ばら組の「降誕劇」は配役紹介もあり、ばら組の全員が心を一つに演じている姿にとっても感動した
 - ◇ ダンスパーティ「鐘よひびけ」全園児が笑顔で楽しく踊っている姿に感動し私自身の笑みがとまらなかった
 - おたのしみ会
 - ◇ ばら組の「思い出のアルバム」
 - ◇ 体験や気持ちを描いたり作ったりする（絵画・制作）が自分で選んで発表していた姿は成長の“あかし。”思い出がいっぱいつまっていた。